

県各市町の原発事故への備品整備

	安定ヨウ素剤 (丸薬の数量/粉末剤の総量＝g/保管場所)	放射線測定器			防護服 一式
		表面	空間	個人	
大津市	3万錠(13歳未満1万5,000人)/北部の薬局4ヵ所	2	7		910
彦根市	10万3,000錠(40歳未満)/500g/市立病院		3	3	6,420 ※2
長浜市	21万9,000錠※1/病院3ヵ所	12	15	43	76
UPZ(県)	25万9,000錠/一時避難所47ヵ所				158
近江八幡市	16万9,000錠※1(新年度購入予定)/医療センター		6		275
草津市			2		
守山市	7万3,000錠※1/500g/市民病院	1	1		
栗東市			1		70
甲賀市					
野洲市					
湖南市					
高島市	9万4,000錠※1/3,000g/保健センター6ヵ所	14	13	53	1,830
UPZ(県)	30万9,000錠/一時避難所81ヵ所				857
東近江市			2		
米原市	7万8,000錠※1/100g/診療所	1	14		440 ※2
日野町	7万錠※1/250g/役場		1		150 ※2
竜王町	7万錠※1/役場	1			
愛荘町	検討中		8		15
豊郷町			1		
甲良町	検討中		3		
多賀町			1		
滋賀県		39	121	294	100
計	147万4,000錠/4,350g	70	199	393	11,301

UPZ＝原発から5～30km圏内。放射線測定器/表面＝表面に付着した放射性物質を検出する測定器、空間＝空間中の線量測定器、個人＝個人が身につけて外部被ばく線量を測定する線量計。県はモニタリングポスト・車などを設置。※1全住民と一時避難者などの想定分。※2防疫用で原子力災害にも使う